



# KAONAGA

The KAONAGA club makes Japanese soft power cross the border.

## 【顔長クラブ】とは？

みなさん、こんにちは。

顔長族の酋長こと、サトリ（金山慶允：かなやまよしのぶ）です。

【顔長クラブ】とは、2015年の8月に、  
僕の呼びかけによって全国から集まった、有志のコミュニティで、  
現在、僕がリーダーをしながら個性豊かな仲間たちと一緒に、

## 『日本人のソフトパワーで世界を磨く』

という理念を掲げ、

世界でもトップクラスのポテンシャルを持っている、  
【日本人のソフトパワー】に目覚める人を増やし、

彼らを【和製の魔法使い】として覚醒させ、

そういう人たちをどんどん海外に【越境】させると同時に、  
自分自身も海外の要人たちとのコネクションをつくって行って、

【世界を舞台に活躍できる日本の個人】を増やす、

という活動をしています。

もう少し具体的に活動内容を説明すると、

- ・ **国内の人たち（主に個人起業家）への教育啓蒙活動**  
ビジネス・起業支援のコンサルティングやプロデュース、  
海外親日国や日本の個人が活躍できる余地の大きな国の紹介、  
日本人のソフトパワーに関する教育
- ・ **海外親日国への日本人ブランディング&マーケティング**  
海外の親日国を中心に、顔長メンバーで訪問し、現地の人たちへ  
日本や日本人ブランドのアピール活動を行いながら市場開拓
- ・ **国内外の政財界の要人や影響力のある人たちへのロビー活動**  
【顔長クラブ】というコミュニティの認知度を高めることで、  
世界のいろんな国々で、【日本のソフトパワーに目覚めた個人】  
が活躍できる場所を増やしていく

という【3つの軸】で動いています。

活動を本格始動させたのは、2015年8月～ですが、  
同年の12月までのわずか5カ月足らずのうちに、

アゼルバイジャン、中国、スーダンなどなどの、今後の発展が見込まれる  
国々の政財界の要人たち（大臣を含む政府高官、大学教授、国策企業や  
メガ企業の役員、会長クラス、現地に駐在する日本大使、駐日特命全権大使）

との、腹を割った関係構築（表向きのつながりではなく、  
文字通り握手して『**友だち**』になる）を実現し、

複数国にて国営テレビや国営通信などの、全国メディアにも出演し、

通常は数年かかる手順を踏む必要のある、

『**姉妹都市協定**』のプロセスをショートカットさせたり、

『**民間外交**』という言葉を超えるような成果と実績を上げています。

現在、活動の第2フェイズ（2016年1月）に差し掛かり、  
国内外要人コネクションへの【**顔長クラブ**】というコミュニティの  
アピールを行うロビー活動に力を入れつつ、【**顔長クラブ**】の掲げる理念、

## 『**日本人のソフトパワーで世界を磨く**』

を体現するため、『**日本人のソフトパワー**』を象徴する事業として、

【**LFトータルヘルス協会**】

【**日本催眠コーチング協会**】

という2つの協会を設立し、『**健康**』や『**メンタルマネジメント**』など、  
**問題解決大国、付加価値大国**である日本で独自の進化を遂げた分野に注力  
し、世界で活躍できる人材育成や、世界中のVIPを満足させるクオリティ、  
レベルのサービス提供を開始しています。

# 日本人の信心深さは世界一

【顔長クラブ】 会員になれば配布されるコンテンツ、

【『和製の魔法使い』への覚醒 ～『空気を読む』を科学する】 セミナー

でも詳しく解説していますが、日本人の持つ、  
世界に誇る特質（ソフトパワー）として、

- ・ 和の精神
- ・ 空気を読む力がある
- ・ 大和魂

というものがあります。

海外に出てみて、

『なぜ、世界のいろんな国々で、日本人が好かれているのか？』

『なぜ海外の人たちは、自国製品よりも日本製品を愛するのか？』

という事実の背景を読み取っていくと、

日本人のする仕事には『神（魂）が宿っている』から、  
という理由が観えてきます。

世界中の人たちが愛する日本製品（これは実際に海外に出て、現地の人たち  
と交流すれば、ひしひしと伝わってきます）の開発の経緯や、そこに施され  
た心の行き届いた工夫の数々、

それらは、宗教を持つ人たちから観れば、  
ある種の『**信仰心**』のように観えます。

いや、『ように観えます』ではなく、実質的には同じだと言えます。

僕が越境会というコミュニティ（会長の石田さんも僕らの理念に共鳴して、**【顔長クラブ】**に在籍してくれています）のツアー企画に参加して、

いろんな海外の国々を旅してみて改めて実感したのは、

**『日本人というのは、世界一信心深い人たちなんじゃないか？』**

ということです。

特定の宗教や神への信仰がなく、強制もされないので、表面的には『無宗教』という人が多いですが、

日本人は、何かを強く信じ、それを現実化させる力、マインドの力のとても強い人たちであることは、間違いありません。

だから、日本人が作る製品や、日本人がやる仕事は、海外のいろんな国々で評価を受け、愛されています。

僕らは、そういった、日本人の作る製品や、日本人がやる仕事の『価値』を、国内の人たちにも海外の人たちにも、もっともっと知ってほしいと考え、

それを広げるために、『**戦略的**』に活動を行っています。

国内の人たちがそれを知れば、失われている日本人たちの『**自信**』を取り戻すことにつながるし、

海外の人たちが知れば、より『**親日**』的な人たちを世界に増やすことになります。

# と、いうことで、、、

僕らの活動や理念に共鳴し『仲間』になってくれる人を募集しています。

- ・『日本人のソフトパワーで世界を磨く』という理念に共鳴する方
- ・僕らと一緒に国内外でロビー活動をしたい方
- ・日本人のソフトパワーに目覚め、世界に貢献できる個人になりたい方
- ・『健康』や『メンタルマネジメント』に興味・関心の高い方
- ・その他、このレターを読んで何かしら協力したい、と考える方

お待ちしております。

すでに、メンバーの中には、越境会会長の石田和靖氏をはじめとして、世界中のいろんな国々の要人とのパイプを持つ方も複数名参加しています。

【顔長クラブ】に関わって、その活動の中から覗いているだけでも、つられて自分の現実が好転してしまった、という方もたくさんいます。

## 【顔長クラブ】に参加する

※現在、移行期で準備中です。

お問い合わせは、<[longfacecompany@gmail.com](mailto:longfacecompany@gmail.com)>まで。

【顔長クラブ】の背景をより知ってもらえるよう、2015年8月に、最初の『仲間』募集を行ったときに公開したレターを、

以下にご紹介しておきます。

サトリや【**顔長**】の楽しい仲間たちと一緒に、  
【**日本人の強み**】を発揮し、【**海外**】を舞台に  
ワクワクしながら活躍したい人を**募集**します。

こんにちは、サトリこと金山慶允です。

新しい【**ビジネス企画：プロジェクト**】を始めるので、  
一緒にワクワクしながら突き進める仲間を募集します。

僕にとっては、【**自由研究クラブ**】（2014年9月～12月）、  
【**シンカプロジェクト3期**】（2015年1月～4月）に続く、

ちょっと久々の、他人を巻き込んでやる大きなプロジェクトです。

その名も、【**顔長クラブ**】、、、

いや、別にふざけてるワケじゃないです。

名前は確かにふざけてますが、

僕は僕なりに、この【**顔長クラブ**】というふざけた名前の  
コミュニティを盛り上げて、この【**顔長クラブ**】という名の下に  
集まってくれる仲間たちと一緒に、海を越えて活躍のフィールドを広げ、

世の中を『**あっ！？**』と言わせるようなことを成し遂げようと、本気で考えてます。

これから、このプロジェクトの詳細を語るのので、  
しばし時間を頂いて、その中で僕の本気度、想いが伝われば、と思います。



# 同じ顔しておってからに、、、

【顔長族】という奇妙な言葉が生まれたのは、  
確か、2014年の4月か5月くらいだったか、、、

僕とくらちゃん（岩木伸一）、げんさん（稲元義光）が在籍していた、  
とあるビジネス勉強会の懇親会でのことでした。

広島県出身のくらちゃんが、  
げんさんと絡んでるときに出た冒頭の一言。

これが、内容の濃い勉強会を終えて、充実した気分で参加した  
懇親会の席で、お酒に気持ち良く酔っていた僕の脳髓を直撃しました。



たしかに似ている！！

あのとき、あの場所で生まれたのが  
【顔長族（かおながぞく）】という言葉だったんです。

それが、今になってまさか、こんなに大きな夢を乗せる話になるなんて、当時はまさしく『夢』にも思いませんでした。

お酒の席で、あまり深い考えもなしに生まれた

**【顔長族】**という言葉は、なぜか、大阪人の僕のセンスをとらえてしまい、だんだんと大きな意味を持ち始めたんです。。。

## ”顔長”と”越境”が結びついたとき、 僕の夢が大きく広がった

ウソみたいなホントの話なのですが、  
2015年の3月に『それ』が起きました。

いや、発端は2014年の12月暮れだったか、、、  
**顔長**と**越境**というコンセプトがなぜか結びついちゃったんです。

上記の勉強会メンバーが招かれた忘年会で、  
久々に会ったくらちゃんに誘われたんです。

『サトリさん、3月にアゼルバイジャン行きませんか？』

**【顔長族】**からの**【越境】**の誘いです。

この誘いをほぼ即決で受けたのも、今から考えれば、  
僕の人生の歯車、タイミングとぴったり噛み合った  
出来事だったからなのかな、、、と回想できます。

その後の流れについては、メルマガやFacebookで  
僕の発信を受け取ってくれてる方にはご存知の通りです。

僕の人生は、このとき参加した、ドバイ-アゼルバイジャンツアーで、大きく流れを変えることになりました。

実は、【顔長族】でアゼルバイジャンに法人を作ろう、という話も、このときのツアーの中で生まれたアイデアなんです。

ツアー中、同行していたくらちゃんとげんさんと僕は、海外の非日常な空間の中、強力にラポールし、

やたらと仲良くなって、やたらとノリだけの会話を繰り返してました。

ドバイやアゼルバイジャンという、日本に住んでいたら、まったく想像もつかないような新しい世界のことを知って、ビジョンが大きくふくらんでいたこと、

非日常空間の特殊な状況のなせるワザか、ノリだけで話している『大きな話』が、

なんだか本当に実現可能なことに思えたんです。

【顔長族】というのは、実はそういう『ノリ』と『勢い』だけで生まれてきた言葉、概念だったりします。

だけど、今の僕らは、そういうものに、自分たちの今後の人生をすべて賭けてしまうような、そのくらいの『前のめり感』で生きています。

会社員時代、必死に周りの空気を読んで、周りに合わせながら生きてきた昔の僕には、想像もつかないような人生を、今の僕は生きています。

# ぶっちゃけて言うと、、、

僕が今回企画するこのプロジェクト、  
名前を【顔長クラブ】なんてふざけたものにする必要性は

**0 (ゼロ)** です。

もったきちんとしたネーミングにした方が、  
ビジネス的にはいいのかもしれませんが。

でも、僕らしいんじゃないか、と思ってます。

『シンカプロジェクト』のときはものすご〜く  
緻密な計算を込めてネーミングしましたが、

『自由研究クラブ』とかは、【顔長クラブ】ほどじゃないにしても、  
かなり適当でユルい感じで決まっています。

こういうユルい感じでやるのが、僕の流儀なんだろうし、  
それがなぜか妙に心地いい、というのも否定できない事実です。

僕は【Libertyze：リバタイズ】という概念を掲げて、  
『自由』に生きる、ということを発信している人間なので、

こういう

『人になんと言われようと、どう思われようと、自分の好きにやる』

というところを背中で見せる必要があるんじゃないかな、  
と、自分で自分を正当化することになっています。

前置きが長くなってしまいましたね、、、

まあでも、直接会った人には話してきたけど、  
そうでない人には謎すぎるネーミングだと思ったので、

最初にきちんと経緯を説明しておくことにしました。

そして、僕は今、こういうふざけたネーミングで  
新しいプロジェクトを立ち上げようとしています、

その中身は、大真面目に自分の【夢】、  
実現したい【ゴール】を追うために、

徹底的に考え抜いて、磨き上げたものになっています。

僕がこのプロジェクトに、どのくらいの  
【本気】を乗せているのかを知ってもらいたいので、

まずは【**顔長クラブ**】の講師陣たちの紹介と、  
僕が彼らとどういう風に出会い、お互いの人生を  
重ねてきたのか、ということをお話していきます。

## 【顔長族 メンバー紹介】

### 酋長：金山 慶允（サトリ）

教育業界（学習塾）でのサラリーマン経験を経て、  
2012年春に独立。半年後には月収240万を達成。

スピリチュアルの言語化、インターネットビジネス、  
引き寄せの法則の実践に豊富な実績。

現在は【リバタイズ】というコンセプトを掲げ、  
人の可能性を開きながら自由を体現する、  
【リバタリスト】：進化型の自由人を増やす活動をしている。

なぜか酋長になっちゃいました（笑）



### 長兄：岩木 伸一（くらちゃん）



現在2つの会社を経営し、自由を謳歌して  
いたつもりだったが、サトリとの出会いで  
時間と経済の自由度の違いを見せつけられる。

ネットビジネスの可能性に魅せられ  
【ゴルフ外交クラブ】を立ち上げる。

ゴルフを通じて一生つきあえる仲間を  
増やすことをテーマに活動している。

30歳でゴルフを始めてクラブチャンピオン5回獲得、  
ハンディキャップ2のトップアマ、ベストスコア67・  
ホールインワン3回、スカイプレッスンなど

レッスン経験も豊富。

## 次兄：稲元 義光（げんさん）

1974年7月30日 大阪で生まれる。  
元祖就職氷河期に、その後「ブラック企業」  
という言葉を生み出したIT業界にうっかり飛び込む。

ブラック企業での厳しい修行を経て、某巨大インフラ  
グループ企業に華麗に転身。担当するクライアントは、  
売上高数千億円から数兆円の巨大企業ばかり。

行く先々のクライアントから「ウチに来て！」  
とヘッドハンティングを受けるといふ人たらし  
ぶりを発揮するが、妙な忠誠心から全て断る。

その後、社内政治的なゴタゴタに巻き込まれ、過労から  
うつを発症。ピクリとも動けない廃人時代を経て、  
奇跡的に「スマイル」として大復活。

現在は独立し、インターネットビジネスの  
コンサルティングやプロデュースを行う。

座右の銘は「I make you smile. You make me smile.」



## 末弟：森嶋 裕嗣（もりしま ひろつぐ）



滋賀県出身 同志社大学卒業 さそり座のA型  
動物占いサル 1985年生まれの29歳 男兄弟の  
末っ子（顔長族でも末っ子）大好物は「ビールと柿ピー」

大学時代に自己啓発と心理学を学び、  
コーチング実績は1,000名を優に超える。

ネットビジネス開始2ヶ月で月収160万突破

- ・個人メディア構築ビジネススクールPMBS主宰
- ・Road to Libertarist公認トレーナー

「何事も要領よく、イイトコ取り」の末っ子根性丸出しの性格。  
成功の秘訣は「結局のところ素直さと根性」だと固く信じている。

# 森嶋くんと僕の出会いのストーリー

もしかしたら、もうすでに知ってるかもしれませんが、森嶋くんは僕にとって、人生の可能性の扉を開いてくれた恩人です。

まだ、会社員生活をしていた2011年の4月。

始めたばかりのTwitterやアメブロで見かけて、僕の意識をわしづかみにしたのが、森嶋くんのアカウント、そこに書かれていたプロフィールでした。

僕よりも、ちょうど10歳年下で同じ大学出身。

関西在住ということで住む場所も近かった彼ですが、

当時、ネットワークビジネス（マルチレベルマーケティング：MLM）の活動をしていて、集客の接点としてブログやTwitterを活用していた彼のプロフィールには、

会社員としての仕事をしながらの未来に希望を失い、新たな道を模索していた当時の僕にとって、

不思議な魅力にあふれていました。

ブログで情報発信を始めたばかりで、会社員以外のビジネスの世界をまったく知らなかった僕には、

弱冠25歳で独立起業し、周りにも若くして独立している経営者仲間がたくさんいて、

おまけに、【引き寄せの法則】を実践して、大きく成功している事業家の富豪のもとで、住み込みの修行をしている、という彼は、

自分の知らない世界をたくさん知っている、とても魅力的な人間に見えたんです。



その彼が、ブログのプロフィールで  
コーチングをやっている、と書いているのを見つけ、

『この人に会いに行けば、自分の現実が何か変わるかもしれない』

と、10歳も年下の彼のコーチングを申し込んだのが、  
僕らの最初の出会いでした。

そこから僕は、ネットワークビジネスのセミナーに勧誘され（笑）、  
会社員生活をしているだけでは見ることのできなかつた世界を  
たくさん見せてもらいました。

あ、ちなみに、僕の中では、ネットワークビジネスに関しても、  
彼がそのリクルートをしていたことに関しても、ネガティブな  
感情はまったくありません。

当時の僕は、

『これは、会社員やってるよりはよっぽど可能性のある世界だ！』

と感じたので、彼が紹介してくれるセミナーに、  
片っ端から参加して、自分が期待していた

『今までとは違う新しい世界』が観えてくる視界にワクワクしてました。

ただ、会社員生活をしながら、ネットワークビジネスの活動を  
始めようとするのは、思ったよりも大変で、そうこうしているうちに  
僕は【ネットビジネス】という新しい可能性に出会い、

そちらの可能性に自分の未来をかけていくことになりました。

彼との付き合いはそこで完全に断たれたワケでもなく、  
その後も、時折連絡をやりとりするような、

ゆる〜い関係性がしばらく続きました。

そして次に、僕らの関係性に変化が出たのは、  
森嶋くんとの出会いから約3年経った2014年の4月のことでした。

僕が参加した、京都での着物ツアーイベントに、  
彼も参加してきて、そこで再会を果たしました。

話を聞けば、彼は、僕との距離ができた後、  
ネットビジネスを始めて、急激に駆け上がった  
僕の様子をチラ見しながら、

彼なりにいろいろと機をうかがっていたようです。

その中で、最初は、自分のコーチングを受けた  
『クライアント』の僕、というイメージを引きずって、

なかなかフラットに見ることができなかつたそうですが、  
あるとき、そういう自分の感覚をすべて捨てて、

素直に僕の発信してるものを受け取り、学ぼう、と決意を新たにしました。

そうして、僕のメール講座などでネットビジネスの学びと実践を進めながら、  
どうしても直接に会って質問したいことが出てきたから、

ということで、僕が参加するイベントに自分も参加し、  
会いに来てくれたんです。

そして、その数ヶ月後には、僕のオンラインスクールに入会し、  
そこで誰よりも目覚しい【成果】を出して、スクールの【公認トレーナー】になり、

今では、僕のコミュニティ内でもっとも信頼出来る人間として、  
関西のシェアオフィスと一緒に住んで生活するまでになりました。

森嶋くんとの関係、人生での関わり方を考えると、  
いつも、**人生というものの深遠さ**を感じます。



彼は僕にとって、人生の新しい扉を開いた恩人であると同時に、  
彼にとっての僕も、同じく彼の可能性を開いた恩人になっています。

僕は教育業界で働いていたときから、  
自分の教え子が、講師になり、また大学を卒業してから、  
後輩の社員として入社してきたり、と、

人生のタイミングによって、関わり方を変える、  
ということが多かったんですが、

今回のこの【顔長クラブ】というプロジェクトを通じて  
出会う人たち、関わる人たちとも、彼との関係のように、

『人生の深遠さ』を感じられるような関わりができればいいな、  
と思っています。



## スマイルげん。重度のうつ病を克服した男

げんさんとの出会いは、僕が2013年暮れに開始した、  
【シンカプロジェクト】というコンサルでのことでした。



彼はそのシンカの1期目、  
まだ、そのプロジェクトが産声をあげたばかり、

まだ僕らが大きな実績をつくる前の段階で、僕らを信頼し、  
自分の未来に投資して、沖縄という場所まで会いに来てくれました。

その後、僕が講師として参加するビジネス勉強会にも  
飛び込んできてくれ、そこで初めて彼のバックボーンを知りました。

彼は、元、**重度のうつ病患者**で、一時は、  
ベッドから出て立ち上がることもできないほどの重症だったそうです。

最近の彼を見ると、Facebookなどでもどの写真を見ても、  
満面の笑みで写っている写真ばかりで、とてもそんな  
壮絶な過去を経験したようには観えません。

僕は、彼のことを、ある意味、現代日本という社会を  
象徴するような人物だと感じています。

日本という国は、高度経済成長期を経て、  
経済的に豊かになった後、バブルの崩壊を経験し、  
そこから、成熟した国家として停滞し、苦しんできました。

物質的には満たされ、豊かになった反面、  
社会には成熟国ならではのいろんな問題が発生しています。

世の中にはうつ病になる人が続出し、  
年間の自殺者の数は3万人を超えます。

これらは一見、ネガティブな要素に思えるし、  
実際、僕も以前はそういう風にとらえていました。

ですが、最近は見方が変わりました。

日本という国は確かに、いろんな問題に直面し、苦しんでいます。

ですが、それは今に始まったことではなく、過去にも散々、  
そういう社会問題に直面しながらも、国民や企業の創意工夫によって、  
それらの問題をどんどん解決しながら、国として前進してきたのです。

僕らが子どもの頃には『公害』や『環境問題』が  
この国の未来に重くのしかかっていた。

世の中で喧伝される情報を見ていると、  
自分たちが大人になる頃には、この国は、  
とても人間が住めないような環境になってるんじゃないか、

と思えて、暗い気分で日々を過ごしていた記憶もあります。

ですが、今、そういった問題の多くは、  
国民や企業の努力によって、ほとんど解決されています。

僕は都心に住んでいますが、街には緑も多く、  
世界的に見ても、とても綺麗で美しく住みよい  
都市環境が実現している、と感じます。

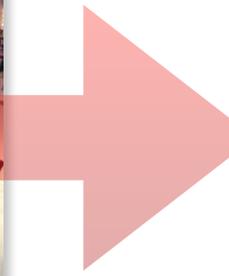
これは海外に旅行に出てみて、帰国した時に、より顕著に感じます。

日本という国は、世界に先駆けてたくさん問題に直面し、  
その度に苦しみながらも解決を繰り返してきた、  
【問題解決大国】という側面がある、と感じています。

ベッドから起き上がれないほどの重度のうつ病という、  
精神的に極限状態を経験したげんさんは、

今はすっかりスマイリーになり、  
いつか、地球の裏側のブラジルに行くツアーを企画したい、  
という夢を語っています。

ベッドから起き上がれないような状況から、  
地球の裏側まで飛び回ろうという越境人への変貌。



彼こそ、現代日本の【問題解決大国】という側面を  
象徴するような、どん底と天井を経験した人間だと思っています。

そんな彼は、自他ともに認める『横軸型人間』で、  
自分の興味のあることには積極的に、果敢に飛び込んでいきます。

その中で彼が身につけたのは、

古今東西の様々な占星術、素質論、アーキタイプ論など、  
【人間分析】のツールの方法論を縦横無尽に横断して再統合した  
オリジナルのタイプ論、【スマイルげんメソッド：SGM】です。

彼と実際に会った人はわかると思いますが、  
彼はどんなタイプの人ともすぐに打ち解け、打ち解けるだけでなく、  
相手の懐に入りこみ、警戒心をもたせない【人たらし】の達人です。

そこには、彼の性格的な【特質】だけでなく、  
彼独自の【タイプ論】に基づいた緻密な理論があります。

【顔長クラブ】の中では、彼は、そういう【人たらし】の技術、  
その応用によって、人脈構築やコミュニティ構築のサポートを担当してもらいます。

## ゴルフを武器に、人生を逆転した男、くらちゃん

くらちゃんとの出会いも、ビジネス勉強会でのことでした。

ビジネス勉強会、最初の自己紹介の時点で、  
僕は彼、岩木伸一という男に興味を惹かれました。

彼は現在、建築業や太陽光発電関連の事業を営む、  
2社のリアルビジネス企業に経営として関わりながら、

日本中を飛び回りながら自己啓発やビジネス関連の  
セミナーに参加して回る、やり手の起業家です。



ですが、その半生を振り返ってみれば、  
事業がうまくいかなくなったり、ガンの告知を受けたり、

といった**どん底**を経験しながらも、  
そういう【**運命**】を自分の力で乗り越えてきた過去があります。

僕自身がブログなどでそういう発信をしているからか、  
不思議と、僕の周りには【**運命**】というものを、  
自分の力で乗り越えてきた、【**人間力**】の強い人が集まるようです。

その彼を象徴するのは名前の通り、**ゴルフ**という言葉。

※彼が岩木さんなのに、『**くらちゃん**』なのは、  
クラブチャンピオンが由来です。

30歳という、普通、何かを始めるのには遅い、  
と考えられがちな年齢からゴルフを始め、

彼はなんとクラブチャンピオンを5回も獲得し、  
そして、その経歴を武器に、

ゴルフという大人の社交のスポーツを、  
積極的に、【**人脈構築の場**】として活用する、

【**ゴルフ外交術**】の達人だったのです。

少し前までの僕は、自分が手にしたほんの小さな成功に満足し、  
狭い世界の中で生きていましたが、2015年の3月、

くらちゃんに誘われて参加したアゼルバイジャンツアーで、  
一気に目を開かれ、自分の活動の舞台を海外に広げることを考え始めました。

そのための『**武器**』の一つとして考えているのが、  
彼の【**ゴルフ外交術**】というスキルです。



【顔長クラブ】ではくらちゃんに、【ゴルフ外交】の講師、  
という役割を担当してもらい、僕自身も彼から学びつつ、

クラブに参加したメンバーたちと、実際に【ゴルフ外交】の  
実践の場に繰り出しながら、海外のVIP（政府や企業の重鎮や王族など）  
たちとの人脈構築を進めていくつもりです。

## 【顔長族】でホンキで世界を席卷する

【顔長族】というネーミング自体は、ちょっとしたきっかけからスタートしていますが、

今、この【顔長族】は僕の、いや、僕らの夢を乗せて大きくふくらんでいます。

今回のこの【顔長クラブ】というプロジェクトも、  
今後、アゼルバイジャンに設立する予定の法人も、  
(Long Face Companyと名前も決めている)

冗談に思えるようなネーミングですが、  
僕はホンキでこの3人の仲間たちと、世界を席卷していくつもりでいます。



もうすでに、新神戸に【顔長オフィス】として、  
僕らの活動拠点となる新居も構えました。

酒の席のノリで生まれてきた

【顔長族】というものが、仲間を巻き込みながら、

あくまでユーモアたっぷりに楽しみつつも、  
大マジメにビジネスを展開して、

海外で活躍するどころか、それによって、  
日本人が海外で活躍するための【場】をどんどん生み出していく。

そういうのって、ものすごく痛快だし、  
おもしろそうだと思いますか??



顔長族のオフィスで寝そべる顔長族たち

このプロジェクトは、僕らの『夢』を乗せていますが、  
僕らは自分たちの好きなことを貫き、楽しむことを  
第一に考えながら、成功していこうと思っています。

そのために必要な、具体的な【戦略】もあります。

では、ここからは、その【戦略】について語っていきます。

と、いうことで、ここからは、

## 【顔長クラブ】というネーミング

のことは一旦すべて忘れてしまってください

すいません。

でも、ここからはホントに真面目な話をします。

アゼルバイジャンという国の大きな可能性に触れたとき、

この国を通して広がる、今まで馴染みのなかった  
イスラム圏の人々やアラブの富豪たちの生きる現実との接点、

そこで、僕の人生はそれらの可能性と化学反応を起こし、  
激しくスパークしました。

僕の中で、新たな【人生のビジョン】、  
達成したいゴールが生まれてきたんです。

それは、

世界でもトップクラスのポテンシャルを持っている、  
【日本人のソフトパワー】に目覚める人を増やし、

そういう人たちをどんどん海外に【越境】させると同時に、  
自分自身も海外の要人たちとのコネクションをつかっていって、

【世界を舞台に活躍できる日本の個人】を増やしていく、

ということです。

僕は、個人として独立する前は、  
ずっと、教育関係の仕事をしていました。

その中で、教育現場の現実を、嫌というほど見てきたんです。

もともとは音楽活動をやっていて、  
音楽に関わる仕事をしたい、という夢を抱いていた僕が、

その夢を捨ててもいい、と思えるくらいに、  
教育業界での仕事に面白みを感じ、

『教育』という仕事を愛するようになったからこそ、

現代日本が抱えている【不都合な現実】には、  
一時期、ホントに絶望しそうになりました。

当時は、

『もう、この国はダメだ。根っこから根腐れを起こしてしまっている。  
だったら、将来的にはこの国を捨てて、海外で生きられるようにならなきゃ』

くらいに考えていました。

## 絶望しても忘れきれなかった”日本”という国への愛

でも、そう思いながらも、日本で生きることをやめず、  
この国に身を置き続けてきたのは、やっぱり、  
自分が生まれ育った、この国に対する『愛』なんだろうな、

と、今なら素直に思えます。

僕はこの国に『**絶望**』したと言いながらも、  
心の底では、それを誰かに否定してほしかったんでしょう。

自分が生まれ育ったこの国を、心の底から誇りに思い、  
世界の人たちに認められる現実を創りたい、

そういう気持ちをどこかに抱えながら生きてきたように思えます。

こういう、自分の中でも、押さえつけて蓋をしてしまっていることに、  
自分でも気づかないような『**想い**』が、アゼルバイジャンツアーに  
参加したことで、一気に表面に顕れてきたんです。

実際に、アラブやイスラム圏の人たちと接してみて、

世界の国々、日本ではマスコミで報道されないばかりに、  
国民にぜんぜん知られていないような国々の人たちから、

日本という国が、日本人という人たちが、  
どれほど認められ、尊敬され、憧れを持たれているか、、、

その事実を知ったとき、  
僕の中で、大きな【**責任感**】のようなものが生まれました。

『**責任**』という言葉は誤解されやすいですね。

実際のところは、

『**こういう事実を知ってしまった今、  
これを日本の人たちに伝えずにはられない**』

『**自分にできることを考えて、  
自分の役割：機能を果たすことで世界に貢献できる**』

という想いです。

動かすには無理、という『衝動』に近いですね。

この辺りは、僕のFacebookやメルマガでの  
発信を受け取ってくれている方ならわかると思います。

アゼルバイジャンツアー前後で、  
発信内容や流れ、ビジョンに大きな変化が  
出ていることが丸わかりですよ。

僕は基本的に、隠し事はキライで、  
言いたくなかったことは言わないと気が済まない方なので、  
(会社員を辞めて独立してから、顕著になりました)

他のメディアなどで僕を知ってくれている人にとっては、  
このレターで書かれていることは、そんなに目新しいこと  
でもないんじゃないかな、と思います。

ここで書いていることは、このレターを書くために  
急に思い立ってひねり出したことではないし、

常日頃から発信していることの延長だと思うので。

## ”和の精神”で世界を変えよう

この【顔長クラブ】の活動を通じて、  
僕が実現していきたいことは、僕の個人的な活動とも重なります。

それは、上にも書いた、

世界でもトップクラスのポテンシャルを持っている、  
【日本人のソフトパワー】に目覚める人を増やし、

そういう人たちをどんどん海外に【越境】させると同時に、  
自分自身も海外の要人たちとのコネクションをつくっていったら、

【世界を舞台に活躍できる日本の個人】を増やしていく、

という枠組みのことです。

このビジョンは抽象的すぎるので、もう少し  
具体的に詳しく解説していきますね。

僕は日本人の持つソフトパワーを、  
【特質】的なものと、【技術：スキル】的なもので分類しています。

日本人の持つ特質とは、

- ・ 【空気を读める】
- ・ 【和の精神】
- ・ 【大和魂】

という3つの要素で表現できると考えています。

- ・ 【空気を读める】 こと

日本人は、目に観えない、可視化されていない、  
言語化されていない領域の情報を読むことに長けています。

## 目に観えない、可視化されていない、言語化されていない領域の情報

というのは、いわゆる【スピリチュアル】な情報、です。

僕が思うに、日本人というのは、世界でも一番  
スピリチュアルな感覚が理解できる人たちだと考えてます。

こう言うと、『**オカルト**』にかぶれた人が喜びそうですが、  
僕が言いたいのは、もっと地に足のついた、言語化して  
説明可能で、再現性のある部分の話です。

日本人は、【場の空気】というものを大切にします。

日本社会に生きてると、自然に他人の想いや感情を読み取り、  
そればかりか、雰囲気や空気といった、どうやっても言語化しようのない、

そういう曖昧な部分の情報を読み取り、それを敏感に感じ取り、  
【場の空気】という情報に自分を合わせる、という能力を、

鍛える必要もなく、自然に身につけてしまいます。

日本人のコミュニケーションの取り方は、  
相手×自分、というように、お互いが対峙するのではなく、

【場の空気】というもっと広い領域に視点を置いて、  
そういうトータルで包括的な【場】を最適化することを第一に考えます。

これが時に、言いたいことを言えない、シャイな日本人という誤解を招きます。

が、実際のところは、言語化され、明文化されていないと  
情報を読み取ることのできない、他の国の人たちよりも、

よっぽど抽象度の高い情報にタッチできている、  
ということなんです。

何かをする上で、【情報】は命です。

より多くの、視野の広い、抽象度の高い情報にタッチできるほど、ものごとは有利に進めていくことができます。

スポーツでも同じですね。

自分の近くにいる相手のプレイヤーしか見えていないのと、プレイするフィールド全体が見渡せているのとでは、

プレイの精度も大きく変わります。

ただ、日本人は【場の空気】は読めても、  
【場の空気】を乱すことを極度に嫌うので（ストレスを感じる）、

結果、相手の要求に従うと、自分が不利になることを  
わかった上で、要求を飲んでしまう、ということをしてしまいます。

【空気が読める】というのは、このように、  
日本人にとって、『強み』であり『弱み』にもなっています。

## ・【和の精神】をもっている

前項で書いたことにもかぶりますが、日本人は【場】とか【空気】という感覚を理解し、

外から入ってきたもののいいところを合わせて、  
より質の高いものを生み出すのが得意です。

日本で生まれてきた文化や、発明された商品、  
どれをとっても、完全にオリジナルで自分たちで生み出した、

というよりも、外から入ってきたもののいいところを組み合わせ、  
自分たちの【付加価値】を加えて、オリジナルを超える、

というものばかりだと気づきます。

これは日本人の持つ【和の精神】から来るものです。

日本人は『和えること』、つまり、  
別々のものを組み合わせて、抽象度を上げることが得意なんです。

## ・【大和魂】をもっている

日本人は、世界的に見てもかなり特殊な人たちです。

なにか特定の宗教をもっておらず、すべての宗教や考え方に寛容で、  
それらのいいところを採り入れて、独自の信念体系をもっています。

実は、この【特質】は、特定の宗教をもつ国の  
人々からすれば誤解されやすいポイントです。

日本人は『宗教心』や『信仰』がない、と誤解されがちです。

宗教をもつ人たちからすれば、特定の神を信じていないことは、  
信仰すべき、人間として従うべき信条、思想的な軸がないと見られます。

それはつまり、人間的ではない、心のシステムが未開人と同じである、  
という誤解を受けてしまうことなんです。

なので、欧米の、特にユダヤ・キリスト教圏の人たちからは、  
日本人は低く見られがちだったりします（アジア人への差別意識もあります）。

日本人に生まれ育った人からすれば、  
特定の宗教をもっていなくとも、

それは『信仰心がない』というワケではない、  
ということは当たり前の感覚ですが、

日本人の感覚を体感したことのない外国人には、それが理解できないんです。

そして、こういうことをきちんと海外の人に対して、言語を使って説明できる日本人がいません。

これは日本にとって、とても大きな損失だと思います。

僕は日本人の【信仰心】というものは、【大和魂】という言葉で表現できるんじゃないか、と考えてます。

【大和魂】を顕す8つの言霊、というものがあります。

和：争わない

誠：誠実である

潔：潔い

清：穢れをまとわない

情：相手の感情に寄り添う

尽：自分にできることを尽くす

根：根気がある

誉：恥を知る

日本人の抽象度が上がると、この8つの資質が体現されます。抽象度が上がる、というのは、

特定の宗教観（信念体系）にとらわれず、場の空気を読んで、周りとの調和できること、

と言い換えることができます。

- ・【**空気を読める**】
- ・【**和の精神**】
- ・【**大和魂**】

これらの【**特質**】は、宗教性がないだけに、  
海外の他の国に『**輸出**』できるものだと、僕は考えています。

つまり、他の宗教をもつ人たちであっても、  
日本人的な上記の【**特質**】をもてば、

他人と争わず、【**場**】、自分たちが生きる世界を  
大切にするような生き方ができるようになります。

従来の日本人は、これらの【**特質**】を、  
曖昧なままにとらえていたので、

海外の人たちに、『**輸出**』することはできませんでした。

が、僕は、

### 【**目に観えないスピリチュアルな領域の話を言語化する**】

ということが得意な人間です。

僕はこれから、自分の個人の活動や、【**顔長クラブ**】の活動を通じ、  
これらの日本人としての【**特質**】を認識し、『**強み：武器**』として  
積極的に使いこなせる人間を増やしていくつもりです。

次に、日本人の持つソフトパワーを、  
【**スキル：技術**】面から見てみましょう。

日本という国は、

- ・ **【問題解決】 大国**
- ・ **【付加価値】 大国**

という特徴をもっています。

日本という国は、先進各国の中でも、  
文化・文明的に最先端にある国です。

少子高齢化問題や、うつ病の増加、健康問題など、  
他の国々の国民がまだ想像もつかないような、

成熟国ならではの問題に直面しながらも、  
それらに一つひとつ丁寧に解決策を見つけて、

**世界の最先端で、苦しみながらも孤独に戦っている国、**と言えます。

日本に住んでいれば、当たり前すぎて気づきませんが、  
世界のほとんどの国から見れば、日本という社会は、

完全に『**未来社会**』なんです。

日本ほども社会インフラや種々の制度が  
広く整備された国はないし、

日本ほども、個々の企業努力で、  
世の中がどんどん便利になっていくような、そういう国は他にありません。

多くの諸外国にとって自国の**【未来の姿】**を体現するのが日本という国の現実です。

まず、そういう日本という国のことを、  
尊敬と憧れの眼差しで見ている国がたくさんある、

という事実を知ること。

そして、日本人の【問題解決能力】は、  
世界の人々の幸せのために、大きな貢献ができる、

ということも知っておく必要があります。

【問題解決能力】とともに、日本が世界に誇るのは、  
【付加価値】を生み出す力の高さ、です。

【和の精神】のところでも書きましたが、  
日本の企業は、海外の製品を改良・改善して、  
オリジナルを超える、ということを得意としてきました。

これも、海外の国々の人からすれば、  
【日本ブランド：メイドインジャパン】として広く認識されています。

そして、僕らの生きているこの日本という成熟社会。

ものもサービスもあふれているこの国で、  
なにかビジネスをやろうと思ったら、

【工夫する】ということが当たり前になっています。

普通にあるものを普通に売っても売れない。  
これは成熟しきった豊かな日本という国だからこそ、です。

日本という国でビジネスをやって成立させている時点で、  
その人は、世界的に見れば類稀なる【付加価値能力】の高い人、なんです。

ここも、海外に出る日本人が少ないばかりに、  
自己認識できておらず、『強み』として武器にできていない部分です。

今の僕にはこれらの、【日本人のソフトパワー】、  
海外の人たちから見た日本人の強み、

というものがはっきりと見えています。

ついでにもうひとつ言うと、  
僕の中では、今の時代、

大企業や政府の力を借りることなく、  
個人や小さな企業として活躍する人が多いこと、

これも、【日本人のソフトパワー】を支える強力な要素と考えてます。

## 和製の魔法使いを増やしていきます

さて、、、  
すっかり長くなってしまいましたね。

でも、ここまでのことをしっかり共有しておかないと、  
これから僕がやりたいことをきちんと理解してもらえない、

と思ったので、できるだけ丁寧に語ってみました。

僕は【**顔長クラブ**】というプロジェクトを通じて、  
【**和製の魔法使い**】を増やそうと考えています。

いや、増やすだけでなく、その人たちが  
海外で活躍するための場所をつくり、  
具体的にそのバックアップをしていきます。

【和製の魔法使い】というのは、

上記の【日本人のソフトパワー】というものを自己認識し、  
『強み：武器』として使いこなせるレベルに目覚めた人たちです。

日本人のもっているソフトパワーは、  
どれも、この日本という国に生まれ育つ時点で、

自然に、当たり前で磨かれるものです。

ただ、それを自分で認識できて、  
『武器』として使いこなせている人はほとんどいません。

当たり前でできているのに、  
強みとして使いこなせていない。

ここに大きなギャップがあります。

この【顔長クラブ】での僕の役割は、  
参加したメンバーの『強み』を、

【日本人のソフトパワー】という切り口でとらえ、  
それをその人にまず、自己認識してもらい、

その『強み』を磨き上げて、  
海外を舞台にどういうことができるのか？

ということを、その人の【作戦参謀】という立場で  
一緒に戦略・戦術を練ってサポートしていくことです。

海外の人から見れば【魔法使い】のような  
能力を持っているのに、それに自分で気づけていない人たち、

その人たちに、まず、自分の能力に気づいてもらい、それをビジネスとして通用するような【強み】に磨き上げ、

そして実際に、その海外ビジネスがうまくいくように、いろいろな面でバックアップし、サポートしていく。

それが【顔長クラブ】という場で行われる、コンサルティング、プロデュースです。

## 【顔長クラブ】はチームで動く

ただ、僕がこれまでやってきたコンサルや、既存のコンサルティングとの違いがあります。

それは『【顔長クラブ】はチームで動く』という点です。

詳しくは後述しますが、この【顔長クラブ】は、

- ・【精鋭チーム】メンバーとして参加
- ・【レギュラーチーム】メンバーとして参加
- ・【ジュニアチーム】メンバーとして参加

という3つの枠でメンバーを募集します。

(※最上位として【円卓会議】メンバーも用意していますが、一般には募集しないので、ここでは説明を省きます)

その中で、【精鋭チーム】メンバーとして参加した人は、文字通り、チームメンバーとして動くことになります。

**【顔長クラブ】**というチーム全体で、

日本人のソフトパワーに覚醒した人を  
海外でどんどん活躍させていく

という【目的：ゴール】に向けて動いていくため、

参加メンバーそれぞれに、**【顔長クラブ】**の一員として  
自分の**【役割】**をもってもらい、それをチーム全員で共有し、

チーム全体でそれぞれのゴールの実現のために協力して動く、

という体制をとります。

既存のコンサルサービスのように、参加メンバーの一人ひとりを  
別々にコンサルしていくワケではなく、チームメンバーとしてのコンサルをします。

これは、言ってみれば、

僕ら自身が、遊びでやるのでもなく、  
単なるお金稼ぎでやるのでもなく、

**【顔長クラブ】**というプロジェクトを通じて、  
本気で、世界戦略を進めていく、ということの顛れです。

一人ひとりが別々に動くのじゃなく、  
それぞれの『強み』を生かして有機的に関わり、

チーム全体として共通のゴールを目指していきます。

このプロジェクトは、僕らとビジョンを重ねて、  
**【運命共同体】**として動いてくれる人を募集する、

ということです。

# セミナー代、コンサル代ではなく”出資”できる人を求む

なので、【レギュラーチーム】【精鋭チーム】に関しては、僕ら講師陣に対して、セミナー代やコンサル代を払う、

というのではなく、ここで書かれている僕らのビジョンに共鳴した上で、【顔長クラブ】というプロジェクトの活動に、自分の未来を重ね、

その上で、自分の望む未来のため、それを実現するための【器】としての、  
【顔長クラブ】の未来のために”出資”できる人を募集します。

ちなみに、この【顔長クラブ】では、すべてのメンバーが、それぞれに自分の立ち位置や役割をもって、【クラブ】のゴール実現のために動きます。

それは僕ら講師陣も同じです。

僕もくらちゃんも、げんさんも、森嶋くんも、それぞれに自分の【役割】をもちつつ、それぞれの『強み』を生かして海外での、自分の事業展開を進めていきつつも、

チームとして協力しあって、他のメンバーの事業展開のサポートを行います。

ここが通常のコサルティングサービスとの違いです。

講師と生徒という関係ではなく、それぞれがプレイヤーとして、チームメンバーとして動く、ということです。

そして、チーム全体の【作戦参謀】役として、僕が旗を振ってリーダーになります。

# キーワードは”しくみ化”、 ”人たらし”、そして”ゴルフ外交”

僕の構想として、【顔長クラブ】では、

- ・国内事業は【しくみ化】して自由に越境できる
- ・日本人の強みを生かした【人たらし】になる
- ・海外を舞台にVIPな人を重点突破で【ゴルフ外交】で攻略する

という3つのステップで、  
海外での事業展開を進めていくつもりです。

日本人のソフトパワーを発揮し、  
【和製の魔法使い】として海外で活躍するために、

まずは、国内事業を、自分の『強み』を生かした分野で、  
【しくみ化】して軌道に乗せる必要があります。

参加メンバーには、国内事業がまだ形になっていない人もいれば、  
ある程度ビジネスとして回っているけど、自由に【越境】できるほど、  
資金や時間的な自由がつかれていない、という人もいと想定しています。

国内事業というのは、【越境人】としては、  
足元の土台となる部分です。

ここの部分が、ある程度自動化されて、  
自分が好きに、自由に動ける状況をつくること。

これは【顔長クラブ】メンバーとしては必須事項です。

なので、ここのサポート・バックアップを森嶋くんに担当してもらいます。

森嶋くんは、過去に【サトリ流ビジネスの分析と活用】  
というセミナーをやってくれたことがあるのですが、

彼の分析力、そしてビジネスの【しくみ】部分のモデリング能力は、  
僕のコミュニティのメンバーの中でも最高峰にあります。

ビジネスの【しくみ化】は苦手とする人が多いですが、  
ここに力を入れることで、どんどん自分の自由度が上がります。

たとえば、マンションなどの不動産の価格を考えてみて欲しいんですが、  
販売価格数千万円もするような物件の家賃収入が、  
せいぜい月に10数万円だったりします。

単発で数百万円の売上をつくるよりも、  
毎月数十万円の売上が『ほぼ自動』で上がるような、  
そういう【しくみ】をつくっていく方が、よほど大きな【価値創造】で、

結果的に【自由な越境人】になることに直結していきます。

森嶋くんは、今、僕の身の回り、  
コミュニティの中にいる人の中で、

その【しくみ化】を教えることにもっとも長けた人間だと言えます。

なので、森嶋くんはこの【顔長クラブ】の中で、  
【しくみ化】担当大臣をやってもらいます。

そして次のポイント。

事業を海外展開していく上で大事なのは、  
海外のできるだけVIPな人たち、重要人物となる人たちと、  
いかにして、良好な人間関係を構築していくか、ということです。

ここで生きてくるのが、げんさんの得意とする、  
【人たらし】の技術です。

あまり表に情報は出てきませんが、  
外資系の企業の営業職に就く人は、必ず研修で、

『素質論』というものを学びます。

これは近いもので言えば、『動物占い』です。  
生年月日による、人間分析のタイプ論ツールです。

占いと聞いて、怪しく感じる人もいるかもしれませんが、  
これらの【タイプ論】ツールは、古来から絶えることなく  
伝えられてきた、本当に実用性のある『統計学』に基づいたツールです。

大企業の組織づくりや運営、人員配置にも  
タイプ論は当たり前に取り入れられています。  
(でも、タイプ論や占いに対する偏見があるので隠されています)

これらのタイプ論ツールは、理論体系はいろんな流派で  
それぞれに緻密にまとめられているのに、

それをうまく使いこなせる人が少ない、という問題があります。

理論体系が緻密で複雑すぎるので、  
それを学ぶ人が、『**枝葉末端にとらわれやすい**』んです。

ツールが好きな人にありがちな、  
『ツールの使い方』ばかりに意識がいて、

そもそも、そのツールを何のために使うのか？  
何に役立たせるために使うのか？

という視点がなくなりがちです。

また、方法論の種類、流派が多すぎて、  
それらの流派間で対抗意識が生まれたり、

『うちのやり方が一番だ』という盲信めいた信仰を生む傾向もあります。

【顔長クラブ】では、どれか特定の流派のツールを使わず、  
げんさんが様々なコミュニティを渡り歩いて、各流派の  
エッセンスを抽出してシンプルにまとめあげた、

【スマイルげんメソッド：SGM】を使います。

僕らは、理論マニアを目指すのではなく、  
あくまで『うまく応用でき、役立てられる人』になっていきます。

ただし、げんさんは現在、プロデューサーとしても活動していて、  
彼のバックには、彼のクライアントでもある、占い、占星術、  
四柱推命などの理論に長けた、『超』がつくような専門もいます。

西洋、中国、インド、日本の諸師から学んだような人間です。

【スマイルげんメソッド】は、名前こそライトな響きですが、  
そういう理論的な裏付けもある、超実用的なメソッドです。

【顔長クラブ】メンバーは全員、このメソッドを身につけ、  
それにサトリ流の【場の調整術】も織り交ぜ、  
人間関係構築術を極めてもらいます。

げんさんはクラブの中の、【人たらし】担当大臣をやってもらいます。

そして、【顔長クラブ】、海外攻略の最後の一手は、  
くらちゃんが担当する【ゴルフ外交】です。

海外展開といっても、僕らが攻略していく国は、ある程度絞られてきます。

**【親日的】**で、日本人が活躍できる余地の大きな国。そして、今後、国としての大きな成長が見込めるところ。

そういった国々を攻略していく上で、枝葉末端の細々としたビジネスを仕掛けていっても、ちょっとした成功は見込めても、それでは生ぬるい。

成長余地のある可能性の大きな国だからこそ、僕らが目指すのも大きな『実』です。

**【顔長族】**では、アゼルバイジャンツアーからの帰国以来、定期的に**【海外戦略】**のミーティングをやっていて、

具体的な『狙うべき国』というの、ある程度定まってきました。

そういった国々の特徴として、日本のような国家に比べて、『**権力の集中**』があって、

**【重要人物】**の心さえ動かせば、トップダウンで大きくものごとが動きやすい、

ということがあります。

僕らは、そういう**【重点突破】**の外交術を駆使して、海外の親日国、ポテンシャルのある国々で、日本人が活躍できるような**【場】**を増やしていくつもりです。

そこで生きるのが**【ゴルフ外交術】**なんです。

洋の東西を問わず、上流階級の間が、  
『大人のたしなみ』としてプレイを楽しむゴルフ、

僕らはここをも主戦場にして、

【親日家】のVIPたちの心を、【和の精神】【大和魂】という、  
日本のソフトパワー外交によって籠絡していくつもりです。

そのために必要なスキルを一緒にくらちゃんから学び、  
それをチームとして実践していこう、ということです。

なので、くらちゃんには、【顔長クラブ】の  
【ゴルフ外交】担当大臣をやってもらいます。

## 勉強会やコンサルではなく”作戦会議”をしよう

ここまで書いてきたところで、  
この【顔長クラブ】というプロジェクトの  
全容が観えてきたかな、と思います。

森嶋くんがチームメンバーの国内事業の【しくみ化】担当大臣。  
げんさんは独自のタイプ論を駆使した【人たらし】担当大臣。  
くらちゃんはVIP人脈開拓の鍵を握る【ゴルフ外交】担当大臣。

僕がチーム全体の戦略・戦術を練る【作戦参謀】役。

そして、【精鋭チーム】のメンバーにも、  
それぞれの『強み』に応じた役割が与えられ、

チーム全体として、【海外越境・事業展開】を前進させていく。  
これが今、僕のアタマの中に構想としてある【未来図】です。

通常の、既存のコンサルやプロデュース企画とは、  
一味もふた味も違うものだと、わかってもらえるでしょうか??

なので、僕らはこのプロジェクトの中で、  
『勉強会』とか『コンサル』と銘打つような場を設けません。

**【顔長クラブ】**のメンバーとして、神戸のオフィス（顔長アジト）  
に集まった時、僕らがやるのはすべて**【作戦会議】**ということになります。

## 【顔長クラブ】に自分の未来を重ねられる人を求む

ここまで読んでみて、どういう感想をもったでしょうか??

サトリさん、熱に浮かされて絵空事を言ってるなあ、、、

みたいに感じちゃう人もいるかもしれません。  
それはそれで構わないです。

僕が好きな坂本龍馬にしても、  
起業家として尊敬している孫正義さんにしても、

最初にビジョンを掲げたときは、  
周りから『絵空事』だと思われたんだから。

絵空事くらい、自由に描かせてもらいます。

ただ、僕は知ってます。

絵空事に巻き込まれる人が増えていけば、  
絵空事は現実になる、ってことを。

なので、今回のオファーは完全に、  
『お客さん』ではなく『仲間』を募集します。

チームメンバーとして参加した方には、  
僕らと【運命共同体】として動いてもらいます。

僕らは全力でその人の『強み』を見つけ出し、  
【顔長クラブ】というチームの中で、

また、僕らの海外戦略・野望の実現のために、  
その人の『強み』が最大限に発揮されるような作戦を練ります。

そして、その人には全力で、自分自身とチームのために  
自分にできることをやって成功してもらいます。

チームメンバー、一人ひとりの成功が、  
チーム全体の戦略を前に進めることになります。

なので、一人の成功のためにチームメンバー全員が  
全力でサポート、バックアップしていきます。

ありきたりな言葉ですが、

『一人はみんなのために、みんなは一人のために』

が実現される場所、それが【顔長クラブ】ということです。

## ～【顔長クラブ】予定活動内容～

### ・【顔長クラブ】旗揚げセミナー

日本人のソフトパワーを世界に知らしめよ！

2015年8月、神戸にて旗揚げセミナーを開催。  
セミナーコンテンツは後日、通信講座化して配信。  
通信講座には後述の【作戦会議】で収録するコンテンツも一部配信。

第一部：2015年8月22日（土）

#### 【労働時間を半分以下に圧縮する『省エネ』ビジネス帝国構築セミナー】

講師 森嶋 裕嗣

#### 【ゴルフ外交で培った人脈構築術】

講師 岩木 伸一

第二部：2015年8月23日（日）

#### 【コミュニティ構築に絶大な威力！ 大富豪ともラポールを築く 進化したタイプ論 スマイルげんメソッド（SGM）】

講師 稲元 義光

#### 【『和製の魔法使い』への覚醒 ～『空気を読む』を科学する】

講師 金山 慶允

### ・【顔長クラブ】定期交流会

2015年9月～12月 毎月1回開催 神戸&東京

【顔長クラブ】講師による基調講演&立食形式のパーティーを行います。  
神戸と東京にて交互に開催します。参加費は飲食代のみを徴収します。

## ・【顔長クラブ】精鋭チーム 結束集会&特別懇親会

2015年9月は精鋭チーム活動のプレスタート月として、数回の結束集会や懇親会、ホームパーティなどを開催。参加費は飲食代のみ徴収。

精鋭チームメンバーはここで各々の自己紹介やバックボーンの共有を済ませ、10月以降の本格活動開始に弾みをつけます。

## ・【顔長クラブ】精鋭チーム 月例【作戦会議】

2015年10月～12月 神戸の顔長アジトで開催

毎月、最低6日間の日程を押さえ、【精鋭チーム】の各メンバーは、それぞれ3回まで参加することが可能。

チーム全体の情報の共有と、各メンバー個別の作戦を練り、各自の行動報告を行います。

## ・【顔長クラブ】専用Facebookグループでの交流

2015年8月以降

専用の秘密のグループ内で、それぞれの活動についての相談や、行動の報告、情報の共有を行なっています。

【作戦会議】などで収録されたコンテンツも一部シェアしていきます。また、グループ自体は【顔長クラブ】第1期の活動期間後も存続します。

## ・【精鋭チーム】専用Facebookグループでの交流

【精鋭チーム】メンバー用に、専用のグループも用意します。

## ・その他、【円卓会議】メンバー限定の特典多数

LongFaceCompanyのモニター顧客権、海外人脈優先紹介、LFCの経営参画権など。

## ～【顔長クラブ】旗揚げセミナー内容～

### 【労働時間を半分以下に圧縮する『省エネ』ビジネス帝国構築セミナー】

講師 森嶋 裕嗣

このセミナーでは、国内事業（個人のビジネス活動）に関して、売上を現状より下げず（むしろ上げつつ）、省エネ化を図る方法・ポイントをお話します。

ビジネスの自動化、仕組みづくりについて、何を基準に判断し、どう構築すれば良いかが分かるようになります。

（【精鋭チーム】【レギュラーチーム】の方は、活動期間中は、本セミナーを教科書にして、ビジネスの省エネ化をガシガシ進めることとなります。）

ここで言う「省エネ化」とは、

売上を下げずに、自由な時間を大幅に増やし、精神的な負担を減らしてクリエイティブな生活・仕事に集中できるようになること、です。

イメージ的に言うと、現状、300万円の収入を作るのに、300時間を仕事に充てているとします。

ビジネスを省エネ化することで、100時間で300万の収入を作れるようになれば、今まで使っていた200時間が浮くわけですね。

この200時間を使って、新しいビジネスを始めて売上を更に伸ばすもよし、全てを趣味や自己投資や休暇、家族との時間に当てるのもよしです。

遊びまくっても飽きてくるので、おそらく、好きなだけ遊びつつ、新しいビジネス（もしくは今のビジネスの増強）をしたくなると思います（笑）

省エネ化は、

- ・労働時間が減ること
- ・精神的ストレスが減ること
- ・売上が上がり続けること

が条件であり、  
そのために必須なのは、以下の2点です。

- ・肉体労働を脱する「自動化」
- ・アンチを出さない「仕組み」づくり



現状である程度稼げている人は、  
「集客」と「セールス」は出来ているはずで

しかし、ほとんどの場合が仕組み化されない職人芸であり、  
個人の人的魅力や肉体労働で売上が支えられているという現状ではないでしょうか。

個人の発する威光、神通力に頼った肉体労働型ビジネスでは、  
病気になったり、モチベーションが下がった時に、  
転がり落ちるように売上が下がっていきます。

そうならないためにも、省エネビジネスを作り上げておくことは、  
必須だと僕は考えています。

僕は以前MLMビジネスに取り組み、

タイトルを達成し、1万人の前で表彰されその収入だけで  
生活できた時もありましたが、いかんせん肉体労働型の仕事を  
していたため、燃え尽きて、組織も収入も霧散してしまいました。

僕には強靱な意志力もないし、素晴らしいカリスマ性ありません。  
モチベーションの上下が激しいし、基本的に怠け者です。  
でも、だからこそ、僕はどうしても、

【省エネ】ビジネスを構築する必要がありました。

このセミナーでは、僕が自身の体験と、金山さんから学んだ  
【省エネ】ビジネス構築のための秘伝の「レシピ」をお渡します。

## 【ゴルフ外交で培った人脈構築術】

講師 岩木 伸一

### ・ゴルフがくれた幸せな人脈

「内向的な日本人でも一生つきあえる仲間作りが出来るゴルフ外交術」  
越境者必須の海外VIPと簡単にラポールが築けて、相手から誘ってくる外交術

### ・ゴルフというスポーツほど人脈作りに適したスポーツはない

ゴルフは1日6時間以上いっしょにいるから自然と仲良くなれる  
プレイ後の一緒に入るお風呂、  
その後の食事をあわせると・・・さらに深い関係が構築できる

### ・共通言語が出来る

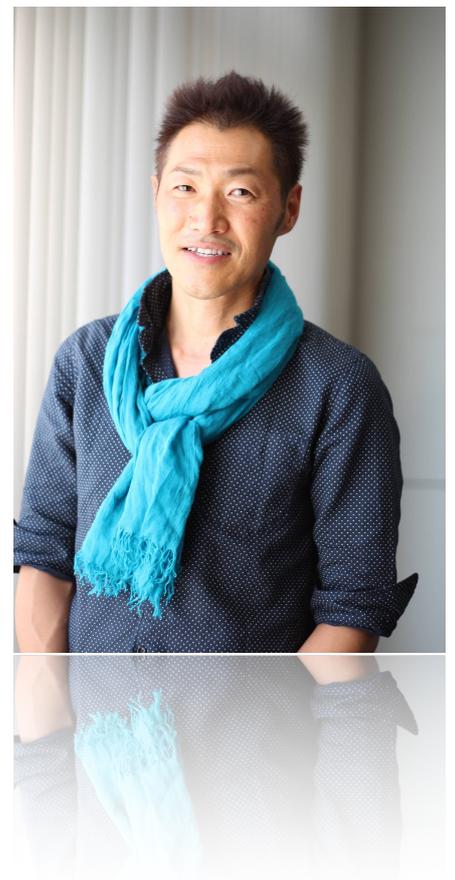
「今日12番のロングパットはすごかったですね」  
「18番のバンカーショットは見事だった」  
などなど一日一緒にプレイするだけで数年来の友人になれる

### ・褒め下手な日本人にもってこい

自然と褒め言葉が出来る  
どんなにスコアが悪くてもそのひとが輝く  
一瞬がゴルフには必ずある

相手を簡単にほめられることばかり

「ナイスショット」



「ナイスセーブ」  
「グッドショット」  
「よく飛んでましたね～」  
「よく打てましたね」

などなど

簡単に褒め言葉が自然にいやらしくなくさせる

### ・いつまでも共通体験を話せる

久しぶりに再会したとしても

「あの時のコンペで一緒できてとても楽しく過ごせました。  
18番のセカンドショットは今でも覚えています」という  
些細な会話で、「そんなことまで覚えてくれたの」  
と感動されよりいっそうラポールが築ける

### ・著名人とプレイできアメリカにまで招待された

鳥居祐一さんとのラウンドエピソード

地元開催のプロゴルフトーナメントコースの最終日そのままの  
セッティングに招待し感動された。

初対面から打ち解け、鳥居さんのコンサルにいても特別扱いされ

⑧シークレットの結婚式にまで招待された。

さらにアメリカのコースを一緒にまわる約束までかわした。

### ・中卒の僕が上場企業の社長や議員の方に「先生」と呼ばれている事実

太平洋クラブ宝塚という名門コースでのエピソード

相手のボールの行方に注意し、常に先回りしてボール位置を伝えるだけで

絶大な信頼を得て、VIPばかりが集まる秘密の食事会に招待され

人脈は無限に広がっていく。

まず与えることにより、相手からのリターンは数倍になって返ってくる。

このステージの人はビジネス内容よりも人間関係が出来てしまえば、すべておまかせ  
というパターンがほとんどで自分からセールスする必要なし

一番楽で楽しいセールス術

### ・VIPに好かれるマインドセット

上場企業の会長数名と大の仲良しな理由

成功者に必要な人間になる作法

## ・ゴルフは性格のレントゲン

どんなに隠そうとしても隠せない  
一緒にプレイすると相手の性格まるわかり  
ここで付き合う人をふるいにかけてる

## ・「和の精神と大和魂の8つの言霊」にまつわるゴルフ外交術

### 和：争わない

ゴルフプレイは自分との戦い  
他人と争うのではない  
自分自身と向き合うこと

### 誠：誠実である

人生のある側面で悪事を行いながら同時に善を行うことはできない  
人生はある不可分なひとつのものである  
誠実に勝るスキルはない  
誠実な行動と言動は好かれる

### 潔：潔い

ウジウジしない  
スパッと悪いことは忘れる  
3パット OBは誰でも嫌なもの  
過去を引きずらず楽しい未来へ

### 清：穢れをまとわない

清潔感のある服装・態度  
相手に不快感を与えない

### 情：相手の感情に寄り添う

つらい人を見たら助ける  
OBゾーンのボールを一緒に探してあげる

### 3 パットしたひとの気分を盛り上げる会話

#### 尽：自分にできることを尽くす

スコアはコントロールできない  
ハザードだらけ 自身の肉体・精神・風・雨・芝など  
今自分に出来ることに集中する  
普段からの準備を怠らない

#### 根：根気がある

基本練習・挨拶し続ける  
天才の才能は続けること

#### 誉：恥を知る

スコアが悪いことが恥ではない  
自分や他人を裏切る行為が恥なのである

#### ・くらちゃんの【和の魔法】

ミラクルタッピングメソッドを利用したゴルフ外交  
私はミラクルタッピングスペシャリストという資格を持っています  
これを利用した簡単外交術をお伝えします

ゴルフ上達と対人関係に一番の障害となるものがあります。  
それは「心のブレーキ」です。

「自分にはそんなことはできないのでは」とか  
「vipの人と気軽に話をするなんて無理」

なんて思っているのは、今までのゴルフ外交術も  
宝の持ち腐れになってしまいます。

そこで誰でも簡単に様々な「心のブレーキ」  
が取り外すことが出来るメソッドを特別に伝授しておきます。

完全版だとそれだけで6時間のセミナーになってしまうので  
ここでは体験版で実際に体験していただきます。

内容は

- ・ありがとう、愛してる の言葉の威力体験
- ・思い込みをはずすと簡単にスプーンが曲がる体験
- ・悩みが思い出せない 不思議な体験

とします。

\*参考

引き寄せの法則でなく引き寄せの公式とは

(ミラクルタッピング創始者の山富浩司さまの著書引用)

引き寄せ法則の落とし穴

**思考だけでは現実化しない**

感情を伴わない思考は現実化しない

思考よりも無意識下にある潜在意識の感情が意識より優先するから

『感情を伴った思考だけが現実化する』

『感情が思考より現実化する』

アクセルとブレーキを同時に踏んでいるから叶わない

**心のブレーキをとりのぞくことができれば・・・**

- 1.できるわけがないといったマイナスの思い込み
- 2.辛い、悲しい、怖い、腹が立つなど行き過ぎた不要な感情

ミラクルタッピングはこれらの心のブレーキを簡単に取り除くことができます

引き寄せの公式とは

**和の引き寄せ**

それは寄り添う心

お互いに「願いが叶うといいなあ」という優しい日本人の  
相手を思いやる心ある引き寄せ

引き寄せの法則にみられる

洋の引き寄せは

絶対に強く願わなければならない  
ポジティブでないといけない  
ネガティブな感情は持つてはいけない  
などは契約なのでつらい  
叶わなかったときに、怒りの感情を引き起こし逆効果  
場の空気を読む日本人には向いていない

ネガティブ感情も必要な感情  
しかし、行き過ぎた心地よくない感情は逆引き寄せを起こすから注意

ねばならないの人生はつらい  
赤ちゃんが先生  
欲しいものを素直に欲しいと言い  
受け取ったら無邪気な笑顔を与える

・引き寄せが起こる前には影の部分が先に現れるので注意  
恐れることはありません

・日々の中の嫌なことを感じているとより嫌なことが引き寄せられます  
プライベートの生活をいい感情で過ごすことが大切

「私には望み通りのお金が流れてきています」とか  
「私は日々幸せになってきています」  
「私はとてもついでいます」

などと考えましょう

・他人の幸せにジェラシーを抱くと引き寄せはストップする

・引き寄せが起こらないときは頑張らない  
ワクワクしてますか？

## ・手放す

古い家具なゴミがあると新しい家具や調度品は手に入らない

息を吐くのがもったいない

ゴミを下流に流すのがもったいない

などに近い思考になっている人が多い

## 【コミュニティ構築に絶大な威力！ 大富豪ともラポールを築く 進化したタイプ論 スマイルげんメソッド (SGM)】

講師 稲元 義光

大企業では組織作りや運営のためにタイプ論は当たり前に取り入れられています。

世にあるほとんどのタイプ論は  
自己理解にとどまるものが多いですが、

**Step1：自己理解**

**Step2：他者理解**

**Step3：他者貢献**

の3ステップを、一気に駆け上がっていただきます。

この【SGM】を活用することにより

### ・コミュニティの構築

(来て欲しい人だけあつめることができる)

### ・コンサルティング、コーチングのレベルアップ

(タイプに基づいて的確にエンパワーメントできる)

### ・コミュニティの運営

(トラブルを未然に防いだり、スムーズに解決できる)

に、即・使えます。



このタイプ論は

人間が持っている根源的な欲求に基づいているので、  
性別・人種・宗教を超えて**世界中の人脈構築**に使えるものです。

薬漬けのうつ廃人から、上場企業へのITコンサルを経て  
海外の法人設立に向けて動き出すまでに

奇跡の大復活をとげた「げん」が

アメリカ大統領選挙の戦術にも活用された  
世界最新のメソッドをベースに

省エネでハイパフォーマンスな成功哲学にまで昇華させた  
**【スマイルげんメソッド：SGM】** を伝授いたします。

また、【スマイルげんメソッド】では、ラポールを形成するための  
具体的なコミュニケーション術も学んでいきます。

なので

**タイプ論**  
**コミュニケーション術**

の両方を扱います。

**タイプ「論」**  
→聞いて頭で覚える

**コミュニケーション「術」**  
→使って身体で覚える

といった感じでいわば車の両輪です。どちらも必要です。

術なき論は、机上のお遊び  
論なき術は、偶然の産物

## 「役に立ってなんぼ」

なので、両方やります。

くらちゃんの【ゴルフ外交】という超・具体的なメソッドも  
このタイプ論を通して実践すると

威力は何倍にも膨れ上がります。

- ・ 自分との対話
- ・ 他人との対話
- ・ 人脈構築
- ・ 組織づくり

【タイプ論】の抽象度を上げ、活躍のフィールドを広げていってください。

## 【『和製の魔法使い』への覚醒 ～『空気を読む』を科学する】

講師 金山 慶允

このセミナーで僕が目指すのは、受講者の方たちが、  
『日本人の真のポテンシャル』に気づき、それを理解し、  
『日本人のソフトパワー』を使いこなせるようになることです。

それによって、【和製の魔法使い】、  
日本人のソフトパワーを認識し、意図的に活用できる人になってもらいます。

同時に、オカルトな説明に逃げず、自分のやっていること、できることの  
『価値』を、異なる文化背景を持った人にも伝えられるようになります。

## 【空気を読む】の科学

『空気』とは？

【場】に直接書き込まれた情報

(厳密には、情報：アルゴリズムがあって、そこに場が形成される)

西欧社会では、あえて空気を無視する

言語：契約を重んじるため、言語化されない情報は無視される

日本人は言語化されない領域の【空気】を読むことに長けている

わびとさび

いとをかし

西洋のジョークはレトリック（言語主導）

日本（関西）の『おもろい』は空気感も包括してる

## 【和の精神】

空気を読める日本人は、

『場』の空気が壊れることにストレスを感じる

奥ゆかしいとか、おとなしい、会議で発言しない、

外国人には『シャイ：内気』としか見られないが、

実際は、『場のエネルギー』を受け取るアンテナが  
過敏すぎるので、そういうアウトプットになっている

アンテナが過敏なまま、自分で意図的に  
『場のエネルギー』を調整できるようになれば最強

相手に観えないものを観ている、ということ  
つまり、相手よりも情報が豊富にある中で戦える

相手と争わない  
日本はもともと国内戦争がほとんどない  
島国で単一民族  
メリットもデメリットもある

海外のものを柔軟に採り入れて、  
付加価値を生み出し、独自発展させるのが得意

漢字、かな、国風文化  
トヨタやソニーなどの躍進  
マンガやアニメなどのソフト産業、、、

自分の考えを他人に押し付けることが苦手  
(場が壊れることをストレスに感じるから)

島国で鎖国精神が染み付いてるので  
大局的に抽象度の高い視点で考えるのも苦手

大事なものは、日本のソフトパワーは、  
世界に幸福を広めるのに貢献できる、という認識

いいものなんだから、積極的に広めればいい

場を壊さなくとも広めることはできる  
これからの日本人は、日本の国土にアイデンティティを置くのではなく、  
日本人のソフトパワー（大和魂）にアイデンティティを置く



ユダヤ人や華僑、印僑など、  
世界的に活躍する人たちから良い部分を学ぶ

彼らのアイデンティティは『精神性』や『思想』

### 【大和魂】を顕す8つの言霊

和：争わない

誠：誠実である

潔：潔い

清：穢れをまとわない

情：相手の感情に寄り添う

尽：自分にできることを尽くす

根：根気がある

誉：恥を知る

日本人の抽象度が上がると、この8つの資質が体現される

8つの資質は日本に生まれ育てば自然に誰でも身につく

日本人同士で比べる必要はない

海外の人が比較対象

大和魂を世界に広めれば、戦争や差別を減らすことができる

### 情報空間と物理空間

言語化されない【概念】の話

日本人は融合させて付加価値を生み出すのが得意

今の日本にあるものは問題解決、付加価値という意味で世界の最先端

## スピリチュアルと科学の融合

当たり前に行っていることの中に  
スピリチュアルな情報操作（縁起の書き換え）を観る

それを認識し、起こっていることのメカニズムを理解する  
意図的にそのアルゴリズムを活用する

⇒ 魔法使いの完成

## 世界の中での日本人のプレゼンス ～【顔長クラブ】の世界攻略のための戦略～

西洋諸国  
アジア  
東アジア  
中東・アラブ諸国

今後の未来予測  
ネット環境  
人工知能  
世界人口の動き

人口が増えるところにお金は集まる  
お金の集まるところに人は集まる

エネルギーが高まる場所  
パワースポットで生活する

世界を変えたいのなら、影響力のステージを上げるべし

影響力のステージを上げるためには、  
ステージの高い人にとっての重要人物になるべし



魂とは、情報空間の自分の存在

魂に意識を向けるためには、内を観るのではなく外を観る  
他人の心の中の自分の存在を磨く

多くの人の心の中で大きな存在になること  
それがステージを上げる、ということ

・昔は足を使った『伝道』が必要だった  
宗教が力を持っていた時代

・近代はマスメディアの時代  
国際金融資本はお金と情報と武力を押さえた

・今後はネットメディアの時代  
突然変異的に強力なソフトパワーをもつ個人が生まれてくる

ただ、今の時代は過渡期にあるので、  
旧来的なパラダイムと新時代的なパラダイムが混在する

僕らが目指すのは、新時代的なパラダイムの能力を駆使し、  
旧来的なパラダイムの世界で影響力の強い人たちを虜にしていくこと

アゼルバイジャンを制すれば、世界を征することができる

アゼルバイジャンはイスラム世界の要人が  
大量に訪れる国になっていく

ヨーロッパ社会とも親和性が高い

**ユーロ五輪とF1開催地に選ばれる意味**

ヨーロッパ系の人たちはアジア人を見くびってるので、  
まずはイスラム世界の要人たちを虜にする

日本人のソフトパワーでイスラム世界の要人たちが  
どんどん進化していけば、ヨーロッパ系の人らも注目せざるを得なくなる

アラブはハリウッドのスポンサー。シティバンクはアラブ系の銀行  
西欧社会への情報影響力も大きい

イスラム世界の人たちが『融和の精神』をもって、  
キリスト教社会にプラスの影響力を駆使すれば、

世界をいい方向に変えていくことも可能

その裏方として、日本人の個人が活躍できる

## ～【顔長クラブ】メンバー募集要項～

### ・【精鋭チーム】メンバーとして参加する

価格：70万円 ⇒ **60万円**（第1期特典として優待価格）

定員：20名まで

#### 【与えられる権利】

旗揚げセミナーへのライブ参加（8月に2回）

通信講座の受講（3ヶ月間を予定）

Facebook全体グループ&【精鋭チーム】グループへの参加（期限なし）

結束集会&特別懇親会への参加（9月に3回）

定期交流会への参加（10月～12月で各月1回）

月例【作戦会議】への参加（毎月3回×3ヶ月間）

【レギュラーチーム】【ジュニアチーム】コースの独占アフィリエイト権

※先行申込特典として、7月22日までに申し込んだ方は、

【精鋭チーム】コースのアフィリエイトも可能となります。

・【レギュラーチーム】メンバーとして参加する

価格：20万円 ⇒ **15万円** (第1期特典として優待価格)

定員：50名まで

【与えられる権利】

旗揚げセミナーへのライブ参加 (8月に2回)

通信講座の受講 (3ヶ月間を予定)

Facebook全体グループへの参加 (期限なし)

結束集会への参加 (9月に1回)

定期交流会への参加 (10月~12月で各月1回)

月例【作戦会議】への【実費】参加権 (1回5万円程度の予定 定員に空きがある場合)

・【ジュニアチーム】メンバーとして参加する

価格：5万円 ⇒ **4万円** (第1期特典として優待価格)

定員：規定なし

【与えられる権利】

通信講座の受講 (3ヶ月間を予定)

Facebook全体グループへの参加 (期限なし)

結束集会への【実費】での参加 (9月に1回 2万円程度の予定)

定期交流会へ【実費】での参加 (10月~12月で各月1回 1回2万円程度の予定)

以上が今回の【顔長クラブ】の募集要項になります。

このレターは【精鋭チーム】コース専用のPDFです。  
お申し込みをする方は、下記のリンクをクリックしてください。

【顔長クラブ】の【精鋭チーム】に申し込む  
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/b78bf133376423>

